

つるおか

# 市議会

令和3年

6月定例会号

●R3.8.1発行

だより  
Vol.67

## 漁船に乗ってみたよ！

7月4日、サマーアドベンチャー in 由良が  
開催され、小学生が漁船クルージングなどを  
体験。「由良」をたっぷり満喫しました。

6月定例会の概要	…… P 2
議案一覧	…… P 3
定例会のポイント	…… P 4
委員会審査	…… P 6
総括質問	…… P 8
一般質問	…… P10

# 議会の概要

令和3年度補正予算、  
議会会議規則の一部改正など  
28件を審議

6月定例会は、6月15日に開会し、市当局が19件の議案を提出しました。請願5件については、所管の常任委員会に付託(※)しました。

上程された議案・請願は、総括質問、委員会審査などの後、議員提出の意見書及び議案各1件を含め審議し、18日間の会期を経て、7月2日に閉会しました。

(議案・請願・意見書の内容と審議結果は3頁)

## 4人が総括質問 市当局が議案を提出

開会初日は、市当局が報告5件、予算議案2件、条例議案1件、事件議案11件の計19件の議案を提出しました。報告は了承し、次に各会派を代表して4

人の議員が総括質問を行いました。(質問内容は8〜9頁)

上程された議案は、予算議案は予算特別委員会に、条例及び事件議案は所管の常任委員会に付託しました。

## 予算特別委員会を開催 各分科会に分割付託

同日、本会議終了後に、議員全員による予算特別委員会を開催しました。付託された予算議案2件についての提案説明が行われ、各分科会に分割付託しました。

## 24人が一般質問

17日、18日、21日の3日間、市当局に対して一般質問を行い、24人の議員が市政全般について

質問を行いました。

(質問内容は10〜15頁)

## 各常任委員会を開催 条例・予算議案等を審査

22日に総務、23日に市民文教、24日に厚生、25日に産業建設の各常任委員会を開催しました。

常任委員会では、付託された条例及び事件議案の審査を行い、引き続き、予算特別委員会分科会として、予算議案の審査を行いました。(審査内容は6頁)

また、総務、厚生及び産業建設常任委員会では、付託された請願の審査を行いました。

## 請願3件を不採択 予算特別委員会で分科会報告

7月1日の本会議では、意見書提出を求める請願について、各所管の常任委員長が審査報告を行い、討論の後、表決の結果、請願第3号、4号及び7号の3件は賛成少数で不採択となりました。(討論内容は7頁)

本会議終了後に開催した予算特別委員会では、各分科委員長が予算議案についての審査報告を行い、表決の結果、議第51号は全員賛成で承認しました。議第52号は討論の後、賛成多数

で可決しました。

最後に、委員が議第52号に関する附帯決議案を提出し、討論の後、表決の結果、賛成多数で可決しました。

## 意見書1件、3年度補正予算議案 に関する附帯決議案等を可決

議会最終日の2日、議員提出の意見書1件を審議し、議会第6号は表決の結果、全員賛成で可決しました。

次に、予算特別委員長が予算議案についての審査報告を行い、表決の結果、議第51号は全員賛成で、議第52号は討論の後、賛成多数で承認及び可決しました。

続いて、議員が議会第8号の附帯決議案を提出し、討論の後、表決の結果、賛成多数で可決しました。

(附帯決議の内容は4頁)  
次に、所管の常任委員長が条例及び事件議案についての審査報告を行い、議第53号から議第64号までの12件は表決の結果、全員賛成で可決しました。

続いて、厚生常任委員長が請願2件についての審査報告を行い、表決の結果、請願第6号は全員賛成で採択とし、請願第5号は討論の後、賛成少数で不採択となりました。



3月定例会で継続審査とした議第36号については、産業建設常任委員長が閉会中の継続審査申出書を提出し、表決の結果、賛成多数で再び継続審査としました。

次に、追加議案として、市当局が議第65号を提出し、質疑の後、表決の結果、全員賛成で可決しました。

最後に、議会が議会第7号を提出し、表決の結果、全員賛成で可決しました。(議会第7号の内容は7頁)

## 6月定例会日程

6月15日	本会議 (総括質問) 予算特別委員会
17・18・21日	本会議 (一般質問)
22~25日	常任委員会
7月1日	本会議 予算特別委員会
2日	本会議

## 全国市議会議長会 永年在職議員の表彰

在職15年以上

本間 新兵衛 議員

※付託…本会議の議決に先立って詳しく検討するために、担当の常任委員会などに審査を委ねること。

### ▼市長提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
報第1号	令和2年度鶴岡市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—	—
報第2号	令和2年度鶴岡市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	—	—
報第3号	令和2年度鶴岡市病院事業会計予算繰越計算書の報告について	—	—
報第4号	令和2年度鶴岡市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—	—
報第5号	令和2年度鶴岡市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—	—
議第51号	令和2年度鶴岡市一般会計補正予算（専決第4号）の専決処分の承認について	予算特別	承認 (全員賛成)
議第52号	令和3年度鶴岡市一般会計補正予算（第2号）	予算特別	可決 (賛成多数)
議第53号	先端研究産業支援センターF棟増築工事請負契約の締結について	総務	可決 (全員賛成)
議第54号	先端研究産業支援センターF棟増築電気設備工事請負契約の締結について	総務	
議第55号	鶴岡市加茂コミュニティ防災センター移転改築工事請負契約の締結について	総務	
議第56号	鶴岡市立斎小学校体育館改築工事請負契約の締結について	総務	
議第57号	財産の取得について（ロータリ除雪車）	総務	
議第58号	財産の取得について（除雪ドーザ）	総務	
議第59号	財産の取得について（消防ポンプ付水槽車）	総務	可決 (全員賛成)
議第60号	財産の取得について（消防ポンプ自動車）	総務	
議第61号	庄内広域行政組合格約の一部変更について 鶴岡市及び酒田市の議員定数の減を踏まえ、組合議会の議員定数を改めるもの	総務	
議第62号	指定管理者の指定について 12月に供用を開始する屋内多目的運動場の指定管理者を特定非営利法人鶴岡市体育協会に指定するもの	市民文教	
議第63号	鶴岡市営住宅設置及び管理条例の一部改正について	産業建設	
議第64号	市道路線の認定及び廃止について	産業建設	
議第65号	令和3年度鶴岡市一般会計補正予算（第3号）	省略	

### ▼議員提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議会第6号	学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書の提出について	省略	可決 (全員賛成)
議会第7号	鶴岡市議会会議規則の一部改正について	省略	
議会第8号	議第52号 令和3年度鶴岡市一般会計補正予算（第2号）に関する附帯決議について	省略	可決 (賛成多数)

### ▼請願と審議結果

請願番号	請願件名	付託委員会	審議結果
請願第3号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立てに使用しないよう国に求める意見書の採択を求める請願	総務	不採択 (賛成少数)
請願第4号	保険薬局も無料低額診療事業の対象とすることを求める意見書の提出に関する請願	厚生	
請願第5号	無料低額診療事業を利用する方の保険薬局での窓口負担の助成に関する請願	厚生	採択 (全員賛成)
請願第6号	鶴岡地区と庄内二次医療圏の地域医療提供体制の抜本的改革を求める請願	厚生	
請願第7号	新型コロナ禍による米の需給改善と米価下落対策を求める請願	産業建設	不採択 (賛成少数)

### ▼継続審査議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第36号	鶴岡市中小企業振興条例の制定について	産業建設	継続審査

# 農業経営者育成学校「SEADS」 関連予算について附帯決議を可決

## 6月定例会の ポイント

SEADSの研修生確保のための経費である農業人材プロモーション業務委託料については、3月定例会で1,500万円の予算が計上されましたが、同施設の運営に様々な課題があることが分かり、予算特別委員会で3年度当初予算案を否決しました。その後、市当局から、この委託料を削除し、予備費に同額を増額する訂正案が出され、可決しました。

今回の6月定例会では、市当局から、予備費を

1,500万円減額した上で、同委託料として1,278万5千円を計上する補正予算案が提出されました。これに対し、総括・一般質問などで、運営委託に係る随意契約の透明性を含め多くの問題を指摘。補正予算案については賛否が分かれ、表決の結果、賛成多数で可決しました。

また、議員が同予算に関する附帯決議案を提出し、賛成多数で可決しました。

### 反対

## SEADS関連予算について討論

### 賛成

- 1期生13人中8人が途中退校したのは、受入れ体制が入校前の説明と違うこと、人材を育成し、独立就農をサポートする体制が整っていないことが原因である。
- 問題の根幹は、旧いこいの村の取得ありきの事業を準備不足のまま始めた市当局にある。
- 一旦、研修生募集を停止し、「研修生受入れ」「学校運営」「農地・住居確保」「定着・定住」それぞれの体制を整えるべきである。

- 今年度は軌道修正できている。成果をあげるには、一定の期間が必要だ。
- 農業人材の育成は最重要課題である。
- 校長・アドバイザーの配置、担任制の導入で体制は強化されている。SEADSは地方創生の取組としても重要である。

▽旧いこいの村を改修し開校したSEADS(千安京田)



▽研修生の作業風景



## 附帯決議

予算執行にあたっては、下記の事項について十分配慮することを強く求める。

### 1 プロモーション業務委託契約について

プロモーション業務委託契約は、これまで一者随意契約としてきたが、選定にあたっては、契約の原則である「公正性の確保」「競争性の確保」「適正履行の確保」の観点から、可能な限り、一般競争入札を実施すること。

### 2 随意契約ガイドラインの策定について

今後、随意契約を締結する場合は、契約の透明性を高めるため、「随意契約ガイドライン」を策定の上、契約理由を公表すること。

附帯決議とは…議決に当たって付随的に付けられる意見や要望の決議。法的拘束力はないが、執行部はこれを尊重することが求められる。

## 新型コロナ関連補正予算を可決 (議第52号)

### 小規模事業者経営継続支援事業

補正予算額850万円

新型コロナ感染症第4波の影響を受けている小規模事業者に対して、経営継続のための支援金を交付。

(売上の減少率に応じて  
1事業者当たり20万円  
又は10万円)



### 中小企業等新分野展開等支援事業

補正予算額6,000万円

ポストコロナ・ウイズコロナ時代の経済社会の変化に対応するための新分野の展開や設備導入等に要する

経費の一部を支援。  
(補助率2/3、  
上限200万円)



## 凍霜害・ひょう害緊急対策事業 関連補正予算を可決(議第65号)

4月の凍霜害、5月のひょう害への対応として、県・市協調による助成及び市独自の対策事業に係る補正予算案が追加で提出され、全員賛成で可決しました。

主な事業を紹介します。

### 農林水産物等災害対策事業補助金(県・市)

補正予算額100万円

内 容	肥料・農薬の購入経費支援
対 象 者	被災農業者(ひょう害のみ)
対象品目	果樹、野菜、花き
補 助 率	県・市合わせて1/2



防ひょうネットに大量に残ったひょう  
(東荒屋地区)



### 生産資材等緊急支援事業補助金(県・市)

補正予算額1,000万円

内 容	肥料・農薬の購入経費支援
対 象 者	被災農業者(減収率50%以上)
対象品目	さくらんぼ、柿、ぶどう、なし、りんご、もも、ブルーベリー、いちじく
補 助 率	品目、減収率に応じて県・市合わせて1/6~2/3

### 産地維持緊急支援事業補助金(市単独)

補正予算額700万円

内 容	営農継続支援
対 象 者	被災農業者(減収率50%以上)
対象品目	さくらんぼ、柿、ぶどう、なし、りんご、もも、ブルーベリー、いちじく
補 助 率	減収率に応じて市単独で 1万円~2万円/10a

# 委員会審査

提案された議案をそれぞれ所管の委員会に付託して審査します。審査の主なものを掲載します。

## 予算特別委員会 市民文教分科会

**大山小に設置する自家発電機は**

**委員** 発電能力はどの程度か。また、未設置の避難所は何か所か。

**防災安全課長** 避難所として約3日間稼働できることを基準に選定している。災害時の拠点避難所となる26施設のうち、自家発電機等の未設置は5か所である。

**新たなスクールバス購入の内訳は**

**委員** 黄金小と鶴岡三中に通学する児童生徒のため2台購入することだが、その背景は。

**管理課長** 今年度末に路線バスの鶴岡机線が廃止予定であり、黄金地区の児童生徒の通学対策として購入する。なお、同路線バスの利用者数は、小学生29人、中学生は通年13人、冬季のみ27人である。

## 予算特別委員会 厚生分科会

**児童福祉施設等のICT化推進は**

**委員** 児童福祉施設等の業務のICT化推進に係る補助金の内容は。

**子育て推進課長** 新型コロナウイルス対策として、施設等がパソコンやその

周辺機器、入退出管理システムを導入した場合等に対象となり、限度額は1か所50万円である。

## 予算特別委員会 産業建設分科会

**農業経営者育成学校SEAADSの現状と課題、今後の運営は**

**委員** シーズのプロモーション業務委託料1、278万円の内訳について、大まかなものしか示されていない。金額の妥当性をきちんと審査できるよう、内訳の詳細を提出できないか。

**農政課長** 今年度の契約手続きは、昨年度までと同様に一者随意契約で行うかどうかも含め、現時点では未定であることから、更に詳細な内訳を示すことは、今後の契約手続きに支障を来すおそれがあることを理解いただきたい。

**委員** プロモーション業務委託料について、令和2年度はSNS運用に213万円の予算がかかっているにも関わらず、フェイスブックで15回、ツイッターで107回しか情報発信されておらず、かなり高額だと思われるが、見解は。

**農政課長** 2年度はホームページ、フェイスブック、ツイッターなどを活用し、200件以上の情報発

信をしている。このほか、SNSを通じて興味を示した方に対し、積極的に声を掛けたが、その人数は50人以上であり、決して高額ではないと考えている。

**委員** 開校前の昨年3月の当初予算の審査では、学校運営が難しいなどという説明は一切なかったが、その後、軌道に乗るまでは2、3年かかる、最近では5年、10年程度かかるという答弁もあった。途中退校した研修生の中には、本市に就職し定住した方もいることなどの副次的な効果によって、あたかも本市での就農という本来の目的が達成したかのように答弁されることが多いと感じる。これまでも額の投資をしているが、設立当初に掲げた目的を達成するには、あと何年程度かかるか。

**農林水産部長** ご指摘のとおり、就農してすぐに成功することは、なかなか厳しい状況にあると認識しているが、認定新規就農者になることが、就農後の最初の目標だと考えている。そういう意味では、1期生が卒業し5年後にきちんと認定新規就農者になっているかどうか、目標達成の評価になるものと考えている。

**委員** シーズが取り組む農業の担い手の確保はとても重要なことだが、古いこいの村の用地や建物の



農家での実習の様子  
(左：ミニトマト 右：メロン)

取得の経緯も含め、余りにも準備期間がなく、物事が進んでいることが問題だと考える。ここは、一旦、3期生の募集を1年間停止し、まずは在校生が農地や住居を確保し、きちんと本市で就農できるという実績を作っていくことが、将来的には、新規入校生へのアピールにもつながると思うが、見解は。

**農林水産部長** 募集を1年間停止した場合、在校生は「この学校の何が悪いのだろうか」と不安に思うし、3期生は在校生がいない中でスタートすることにもなる。今年度の研修は順調に進んでおり、農業団体や地域の農家の理解や応援も広がってきている中、その信頼を失うことにもなるため、募集を停止する考えはない。

# 討論

## 新型コロナウイルス禍による米の需給改善と米価下落対策を求める請願

※MA(ミニマム・アクセス)米…

日本が高関税を課して輸入を制限する代わりに最低限輸入しなければならない量の外国米。

### 賛成

#### 日本共産党鶴岡市議団 MA米の輸入を削減し 国産米の買上げを

コロナ禍で飲食宿泊業の外食需要が大幅に減少したため、米の在庫は大幅に増え、米価下落は来年秋まで影響が及ぶ懸念がある。しかし、政府は需給調整機能を全く果たさず、農家等の自己責任とする一方で、毎年77万tも輸入されるMA米の数量を一切削減しようとする。政府が在庫米を買上げ、コロナ禍で困窮する国民への支援に回せば、国民・生産者ともに助かる政策である。本請願は、庄内の他自治体でも全て採択されており、農家と地域経済を守るためにも賛成する。

### 反対

#### 新政クラブ 国は米の買上げによらない 需給改善策を講じている

政府は、国が米を買上げ市場隔離すること、需給操作につながり、農家自らの経営判断で生産販売を進める米政策の改革にも合わないため、行わないとしている。そして、在庫米を減らすため、米の長期計画的販売時の保管経費や、米卸しなどの米調達費用の一部を支援している。また、MA米の輸入量調整は貿易協定があり難しいものと考えられる。本市のJ A 2団体では、在庫米の売先も既に決まっているため、市に米価下落対策を要請していないことも踏まえ、本請願に反対する。

## 議会第7号「会議規則の一部改正」 議員が活動しやすい環境を目指して ～欠席理由に育児等を明文化～

市議会では、今定例会で市議会会議規則を改正しました。

これまで本会議等に出席できない理由を一括して「事故」と表記していましたが、「公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由」と具体的に明記しました。

また、出産のための欠席期間については「日数を定めて」としていましたが、「産前6週間(多胎妊娠の場合は14週間)、産後8週間」と期間を明記しました。

議員は、住民代表である職責を考慮し公務を優先するよう最大限の努力をした上で、やむを得ない場合に公務を欠席しますが、この改正は、地方議会議員のなり手不足が指摘される中、女性をはじめ多様な層の人材が、より議会に参画しやすくするための環境整備等を図るものです。



## パソコン・スマホで 議会中継が見られます

市議会では、本会議の様子をインターネット動画配信サイト「YouTube」で本会議の生中継及び録画配信を行っています。

傍聴に来ることができない方は、ぜひ、ご視聴ください。(委員会の中継はしていません)



YouTube 鶴岡市議会



# 総括質問

市長提出議案に対して、  
会派を代表して質問します。  
各議員1項目について概要をお知らせします。

YouTube

「鶴岡市議会チャンネル」

本会議の生中継・録画配信を行っています。



YouTube 鶴岡市議会



質問は市議会ホームページ等で公開している録画配信や会議録で全てご覧いただけます。原稿は質問した議員本人の責任において執筆しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。

## 新型コロナウイルスワクチンの接種状況は

新政クラブ 菅原 一浩 議員



議員 高齢者接種の今後の見込み及び基礎疾患を有する方や65歳未満の方に対する接種計画は。

市長 接種計画については、新型コロナウイルスワクチン対策鶴岡・三川合同本部会議に諮り、調整の上進めている。65歳以上の高齢者の接種については、希望する全ての方が7月末までに接種を終えることができるように鶴岡地区医師会と連携して取り組んでいる。今後は、65歳以上の方の接種を着実に実施し、終了が見えた段階で、60歳～64歳の方の接種を一部並行して進め、次いで59歳以下の方へと切れ目なく実施していく。その際、国の接種順位に定められている基礎疾患がある方に加えて、学校の教職員、保育士などの優先接種を行うことも検討している。その後、その他の方から接種してもらうように進めることとし、地区医師会と調整しながら、円滑に実施していきたい。

ほかの質問

新型コロナウイルス対策、観光業の振興、SEADS

## 降霜・降ひょう被害への対応は

日本共産党鶴岡市議団 山田 守 議員



議員 4月の降霜、5月の降ひょうで農家は深刻な被害を受けた。被害に対する設備支援、営農持続化給付金制度の創設などの考えは。また、加入率が低いと言われている共済制度・収入保険の加入促進の支援は、県に要望や協調事業の提案を行う必要があると考えるが、見解は。

市長 県は、被災農業者に対する運転資金の融資、営農継続に向けた肥料・農薬の購入経費や、被災防止のための防ひょうネット等の導入経費の支援を公表している。市としては、営農継続を後押しするため、次期作に向けた栽培管理に必要な経費全般について、10a当たり2万円を補助するための予算案を今定例会で追加提案する予定である。共済制度等については、県が加入促進に向けた協議会を立ち上げており、今後、県や農業共済組合などと連携して加入促進に取り組んでいく。

ほかの質問

コロナワクチン接種対応、先端研拡張事業など



## 子どもを守れ 保育士や教職員らに優先接種を

市民クラブ 石井 清則 議員



**議員** 子どもたちの命を守るためにも、59歳以下のワクチン接種は、保育所や学校、学童保育などで働く方を優先するべきだと考える。理由として、現在12歳未満は接種対象に含まれていないことがある。特に保育所は、原則として開所するよう厚生労働省から示されている。さらに、保育所や教育現場での新型コロナウイルス発生は、保護者や地域、経済に与える影響が大きいことなどがあるが、市の考えは。

**市長** 7月末を目途に59歳以下の方全員に接種券を送り、8月からの順次接種を見込んでいる。優先接種の対象は、基礎疾患を有する方に加え、身体障害者手帳をお持ちの方、障害者施設や介護施設の従事者、保育・教育従事者などを検討している。接種の加速化も求められているので、予約や接種が円滑に進むよう、地区医師会等と連携を図り、万全を期していきたい。

ほかの質問

観光、農業

## コロナ禍での芸術文化活動の支援は

鶴岡市議会公明党 秋葉 雄 議員



**議員** コロナ禍の影響で市内の芸術文化活動も壊滅的な打撃を受け、文化会館で予定されていた行事やイベントも中止又は延期となった。稼働したばかりの会館を余り活用できなかったのは、痛恨の極みである。文化会館の活用策についてどう考えてきたか。また、アフターコロナに向けた基本的な考えは。

**市長** 本市では昨年6月から使用料の減免措置を講じており、令和2年度の文化会館の貸館事業の利用件数は元年度に比べて1・2%増加し、一定の効果があつたと考えている。今後は、ホームページやSNSの更なる活用やタクト新聞の発行回数を増やすなど情報発信の強化に努めたい。アフターコロナに向けては、国の動向を注視しつつ、現在策定中の文化芸術推進基本計画の下、オンラインやデジタル技術を活用した公演の開催の在り方も検討していきたい。

ほかの質問

雇用対策、デジタル  
ダイバイドの解消

## 4 月臨時会

4月21日に4月臨時会を開催し、条例議案2件、予算議案1件、人事案件1件の審議を行いました。提案説明の後、質疑が行われ、表決の結果、承認、可決及び同意しました。

議案番号	議案名	審議結果
議第47号	鶴岡市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認 (全員賛成)
議第48号	令和3年度鶴岡市一般会計補正予算(第1号)	可決 (全員賛成)
議第49号	鶴岡市市税条例の一部改正について	
議第50号	鶴岡市固定資産評価員の選任について 村上 江美 氏(課税課長)	同意 (全員賛成)

## コロナ禍における 生理の貧困対策は

黒井浩之議員



**議員** 市議会公明党では4月に防災備品への生理用品の追加を要望していたが、進捗状況は。

**危機管理監** 要望を踏まえ、コミセンなどの拠点避難所への配備を完了した。4年度までに想定する必要数を配備し、以後更新していく。

**議員** 市内の小・中学校、高校で生理用品を無償で提供する方策についての検討状況は。

**教育長** 経済的な理由等で用意が難しい児童生徒に無償で提供することとし、全小・中学校と高校に生理用品を配付した。5年度以降は毎年度市の防災備蓄品として購入し、配備から2年が経過したものを各学校に配付していく。

ほかの質問

経済対策、ごみ減量と資源化、  
新型コロナウイルス拡大防止対策

# 一般質問

市政全般について考え方や方針などを  
市当局に質問します。

各議員1項目について概要をお知らせします。

質問は市議会ホームページ等で公開している録画配信や会議録で全てご覧いただけます。原稿は質問した議員本人の責任において執筆しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。

※総括質問を行った議員を除く21人の質問を掲載します。

## YouTube 「鶴岡市議会チャンネル」



本会議の生中継・録画配信を行っています。

YouTube 鶴岡市議会



## コロナ禍での本市の 観光の状況は

本間正芳議員



**議員** ウイズコロナに対応する観光振興策は。地域の自然や歴史、文化等を教材化して、本市独自の教育旅行プランを提供するなど、攻めの観光戦略を展開してはどうか。

**商工観光部長** 感染リスクを避ける目的から、近場への旅行、ワーケーション（※）等新たな旅行ニーズが生じており、市では、その受入れ環境を整備する団体へ支援している。本市への教育旅行は増加傾向にあり、昨年度は東北各地から98校が訪れている。今後はDEGAM発行のガイドブック『まなぶつるおか』も活用し、より学習効果の高い内容を提案していきたい。

ほかの質問

小・中学校の修学旅行

## 銀座商店街の 再生への挑戦は

富樫正毅議員



**議員** このままだと銀座商店街は消滅してしまう危機感を持つが、市に再生の決意はあるのか。

**商工観光部長** 商店街の方々の意見を聴きながら、再生に向け努力していきたい。

**議員** 中心市街地の中心というのは、市役所ではなく商店街である。銀座商店街を活性化する必要性をどのように考えているのか。

**商工観光部長** 銀座商店街が活発に動かない限りは、街のにぎわいも取り戻せないと考えている。商店街活性化の必要性について市民からも理解が得られるよう、商店街、商工会議所とも検討をしながら体制を確立していきたい。

ほかの質問

一人暮らし高齢者対策

※ワーケーション…「ワーク(仕事)」と「バケーション(休暇)」を組み合わせた造語。ふだんの勤務地を離れ、保養所などで休暇を取りながら仕事をする。

## PayPayキャンペーン 適正な事業評価を



尾形 昌彦 議員

**議員** <sup>ペイペイ</sup> PayPay キャンペーンの再度の実施を求める声があることは受け止めるが、しっかりした事業評価が必要である。消費者側・事業者側ともに PayPay を使える、使えないで分断が生じている。未利用の方々の話も聞き、総合的な検証を行った上で再実施の可否を判断すべきであり、検証なしに再実施すれば市民の分断を更に進めることになりかねないが、市の見解は。

**商工観光部長** PayPay キャンペーンは不公平感があるという意見も頂戴している。事業評価をしっかりと行い、今後の実施については十分に検討していきたい。

ほかの質問

日本遺産「北前船寄港地・船主集落」の事業推進・環境整備

## 多様なニーズに対応した 中学校の部活動環境の確保を



石塚 慶 議員

**議員** 国は休日の部活動について地域主体の活動への移行を示している。少子化でスポーツ・文化活動の選択肢が狭まっている課題も含め、地域との連携で解決すべきと思うが、対応は。

**教育長** 今年度から教育やスポーツの関係者で、部活動の在り方について検討委員会を開催するほか、モデル推進校を設置し調査等を実施する。その後、学区単位の検討会議を経て、5年度から休日部活動の地域移行を目指す。また、総合型地域スポーツクラブとの連携についても関係機関と意見交換を行いつつ、学校の働き方改革と持続可能な部活動の実現に向け検討を進める。

ほかの質問

農業経営者育成学校 S E A D S の運営

## 米価下落への危機感が 薄いのでは



本間 信一 議員

**議員** 国は6月末時点の米の民間在庫量を約210万tと想定している。需給均衡、米価安定には生産量で36万t、面積換算で5%の作付け転換が必要と試算しているが、県と市の考えは。

**農林水産部長** 県では需給バランスに配慮しつつ、つや姫等のブランド米の地位確立、県産米のシェア維持を目標に、産地の生き残りを懸け生産の目安を設定している。そのため、売行きの良い悪しや米作りへの熱意などを加味しない国の適正生産量とは考え方が異なる。市としても、県全体で足並みをそろえて生産の目安を遵守することが米価安定につながると考えている。

ほかの質問

凍霜害、ひょう害対策

## マイナンバーカードの 普及状況は



五十嵐 一彦 議員

**議員** 本市の普及状況と今後の見通し及び市職員の普及状況と取得率の目標は。

**市民部長** 5月末現在で交付率は25.7%、申請率で38.5%となっている。今後の見通しとしては、専用窓口の拡大や時間外・休日窓口の開設など、引き続き申請機会の拡大を図っていくことにより、令和3年度内の取得率を50%、4年度内にはほぼ全市民が取得することを目標に取り組んでいく。なお、市職員の取得率は3月時点で約60%となっており、今後も職員が率先して取得するよう啓発に努め、今年度内には100%に近い取得率となるよう目指したい。

ほかの質問

鼠ヶ関IC周辺施設整備推進室

## 赤川水源を活用した 地域振興を

渋谷 耕一 議員



**議員** 赤川の潜在的な可能性を引き出すため、サケの放流、採捕、ふ化事業に取り組むことで、漁業の活性化や、商工業・観光・教育・食文化の分野で持続可能な開発に取り組むべきでは。

**農林水産部長** サケの放流事業は内水面漁業の活性化と海面漁業の漁獲量の増加が期待され、水産業の担い手育成・確保と生産基盤の維持につながるものと考えますが、稚魚の放流数は県全体で調整が必要で、直ちに増やすことはできないなど特有の課題もある。今後も県や関係団体と課題を整理しながら、内水面漁業団体による事業推進を支援していきたい。

ほかの質問

本市の霜・ひょう被害支援策

## SEADS卒業後の 本市での就農を目指して

阿部 寛 議員



**議員** SEADSでは卒業後の本市での就農を目的としているが、2年間という短期間の研修で可能か。条件は厳しいが、農地を確保しやすい中山間地域での就農を指導すべきでは。

**農林水産部長** 1年目は水稲有機栽培のほか、本市の代表的品目であるミニトマトや枝豆、冬場のネギなど周年農業を意識した品目での研修、2年目は各研修生の営農計画に沿った品目に集中して研修を行い、円滑に就農できるよう配慮している。中山間地域での就農に限定した指導は行っていないが、現地視察などとおして、中山間地域の農業を学ぶ機会を提供している。

ほかの質問

朝陽第五小学校改築、農業振興

## 子どもが屋内・外で元気に 遊べる施設の整備は

佐藤 昌哉 議員



**議員** 本市では圧倒的に子どもの遊び場が不足している。大山地区に完成する屋内多目的運動場を子どものために使えるようにできないか。また、本市の豊富な山林資源の特徴を生かしたフィールドアスレチックや森林公園など、家族連れで遊びに行けるような屋外の遊び場環境を整備できないか。

**市長** 子どものために屋内多目的運動場を開放することは十分可能であると思うので、教育委員会にしっかり検討してもらい、実現に向けて取り組んでいきたい。森林公園などについても十分検討が可能なものだと考えている。

ほかの質問

農業経営者育成学校SEADS

## 中小企業振興条例 プロセスの丁寧な説明を

小野寺 佳克 議員



**議員** 市広報6月号の市長の一筆入魂には同条例について「鶴岡商工会議所、出羽商工会も早期成立を求めており」との記述がある。当初、市当局は「商工会議所も制定を支持する」と答弁したが、その後、実際は「制定に反対はしない」であったと訂正している。同会議所が早期成立を望んでいるとはとても受け止められず、市広報を訂正すべきではと考えるが、見解は。

**市長** 同会議所が成立を望まない条例を提案することはあり得ず、「反対はしない」ということは、成立を凶ってほしいものと受け止め、早期成立に向け取り組んだものである。

ほかの質問

行財政改革の取組

## 新型コロナ換気対策で CO<sub>2</sub>モニター設置を

加藤 鑛一 議員



**議員** 新型コロナ対策で密室での換気を確実に  
行うにはCO<sub>2</sub>濃度を数字で確認することが大  
切だが、市役所のCO<sub>2</sub>モニター設置の現状は。

**総務部長** 本庁舎内には設置していないが、法  
律の規定により、2か月に1度測定器による濃  
度測定を行っている。5月の測定結果では544  
ppm～630ppmで、基準の1,000ppm以下とな  
っており、十分な換気が確保されている。

**議員** 小・中学校での設置状況は。

**教育部長** 4校で計9台導入している。効果を  
検証しながら、機器の共有による有効活用や各  
校配置の必要性について検討していきたい。

ほかの質問

市管理農道の整備、  
パワハラ防止法施行1年と明るい職場づくり

## 職員の意識改革や 自己啓発を促す人材育成を

齋藤 久 議員



**議員** 全ての市職員は、地域社会のリーダーで  
あるべきと期待している。市民が望む良質な行  
政サービスを提供していくための、人材育成の  
基本理念、人事管理などの方策は。

**総務部長** 昨今、行政課題が多様化・複雑化し  
ており、部署を越えて柔軟に対応できる能力が  
重要になっている。また、高い士気、チャレン  
ジ精神、コミュニケーション能力も求められる。  
職員の力を結集して成果を上げ、それを市民に  
還元することが大切である。人事評価制度や自  
己申告制度等を活用し、社会情勢の変化に臨機  
応変に対応できる人材の育成に努めていく。

ほかの質問

農業振興策

## 高校生まで子どもの 医療費無料化は

長谷川 剛 議員



**議員** 子育て世代からは、現在中学生までの医  
療費無料化を高校生まで求める声広がってい  
る。高校卒業まで完全無料化したのは県内で24  
市町村までに広がっているが、本市の見解は。

**健康福祉部長** これまで国や県に対し子育て世  
代の医療費負担軽減を全国一律に実施すべきと  
要望している。あわせて市単独実施の検討も重  
ねているが、高校生まで無料化した場合、市の  
新たな負担は年間約1億800万円見込まれる。  
医療費負担軽減は重要な施策だが、依然として  
財政は厳しい状況にあり、ほかの子育て支援施  
策との比較も含め事業の在り方を検討していく。

ほかの質問

教育環境

## 小・中学校のトイレに 生理用品の設置は

坂本 昌栄 議員



**議員** 生理用品は健康な生活を送るためには必  
需品である。以前から保健室にはあったが、そ  
れ以降状況は変わらず、保健室に行くことが児  
童や生徒に劣等感を与えかねない。児童等の尊  
厳を守り、子どもの学びの環境整備を最優先す  
るため、トイレに生理用品を常備することを早  
急に検討してほしいと考えるが、見解は。

**教育長** これまで同様、保健室での対応を想定  
している。養護教諭を中心に対応し、家庭環境  
を把握して保護者も含め適切に支援する必要が  
ある。まずは、保健室へ気軽に相談しに行ける  
環境整備を各校に働き掛けていく。

ほかの質問

市民参加を推進するための施策、  
学校給食費の無償化、PCR検査の実施



## 鶴岡南高校山添校 閉校後の校舎活用は

中 沢 洋 議員



**議員** 山添校が今年度末に閉校する。櫛引地域の中心部に位置するため、閉校後も校舎を適正に管理すべきと考えるが、今後の活用見通しは。  
**櫛引庁舎支所長** 山添校は県の教育財産であり、県に照会したところ、グラウンドは庄内中高一貫校の整備期間中、鶴岡南高校が代替利用することを検討中であり、校舎棟は現時点で具体的な活用予定はないとの回答であった。市としては、閉校後の山添校も含め、本市にある県遊休施設が有効活用されるよう県に要望しており、今後も、地元の声などを集約し、早い段階で校舎も含め利活用されるよう要望していきたい。

### ほかの質問

鶴岡市における有機農業の取組と農業経営者育成学校SEADS

## 地球温暖化対策の見直しは

草 島 進 一 議員



**議員** 国は令和12年度における温室効果ガス削減目標を平成25年度比で46%削減すると表明したが、本市の地球温暖化計画の見直しは。また、他市では、高断熱性能住宅の普及を促進する県の取組「やまがた健康住宅」に上乘せ助成しているが、本市の省エネ住宅の普及状況は。

**市民部長** 温暖化対策は国や県の動向を見極めながら、本市の計画も見直しを進めていく。

**建設部長** 省エネ住宅の普及状況はZEH(※)が令和2年度の新築住宅のうち約10%、やまがた健康住宅は平成30年度から令和2年度まで累計28戸となっている。

### ほかの質問

なし

※ZEH…住宅の断熱性・省エネ性能を上げたり、太陽光発電を設置したりすることで、年間の一次消費エネルギー量(空調・照明等)の収支をゼロにする住宅。

## 凍霜害・ひょう害の現地調査を行いました



ひょう被害を受けたりんご  
(三千川地区)

4月の凍霜と5月の降ひょうによって、市の広範囲にわたり、庄内柿やさくらんぼ、りんご、なし等の果樹を中心に農作物へ甚大な被害が発生し、6月1日に産業建設常任委員会が被害を受けた農家の現地調査を行いました。

被害を受けた農家の中には、今年の収穫がほとんど見込めない状況でも、次期作に向けた管理を継続しなければならない方もいて、減災対策も含め、営農を継続できるよう早急な

支援策を講じる必要があります。

今定例会では、複数の議員が被害対策について質問しました。



現地調査の様子

# 議会を傍聴される 皆さんへ

鶴岡市議会では、新型コロナウイルス感染拡大を防止するとともに、傍聴にお越しの方の健康を守るため、次のことをお願いしています。ご理解とご協力をお願いします。

- 傍聴席の間隔を空けて着席してください。
- マスクを着用してください。
- 入場時に手指のアルコール消毒をしてください。
- 発熱など体調が優れない方はご遠慮ください。

なお、本会議は本所及び各庁舎市民ロビーのテレビモニターで生中継しています。また、市議会ホームページ・YouTubeでは生中継及び録画中継も視聴できます。

## 9月定例会日程（予定）

日	月	火	水	木	金	土
	8/30	8/31 本会議 (開会・総括質問)	9/1	2 本会議 (一般質問)	3 本会議 (一般質問) 議会運営委員会	4
5	6 本会議 (一般質問)	7 決算特別委員会 予算特別委員会	8 総務 常任委員会	9 市民文教 常任委員会	10 厚生 常任委員会	11
12	13 産業建設 常任委員会	14 常任委員会 予備日	15 常任委員会 予備日	16	17 議会運営委員会	18
19	20 (敬老の日)	21 決算特別委員会 予算特別委員会	22 本会議 (表決・閉会)	23 (秋分の日)	24	25
26	27	28	29	請願・陳情 提出期限 8月24日(火)午後1時		

※各会議の開会時刻は午前10時です。  
 午後にわたる場合は1時間程度の休憩をはさみ再開します。  
 ※日程は変更される場合がありますので、ご了承ください。

## 議会傍聴アンケート

6月定例会を傍聴した方から寄せられた  
ご意見・ご感想（一部抜粋）を紹介します。

- 児童・生徒が授業の一環として見学参加などができればいいと思った。
- 答弁が長いと感じた。



傍聴の様子

## 編集後記

新型コロナウイルスワクチンの接種も進み、この議会だよりが皆さんの手元に届く頃には東京オリンピックも始まっていることと思います。

6月定例会では、SEADの補正予算について賛否両論の活発な議論が交わされ、最終的に附帯決議を付し可決しました。これは議会の役割の一つである、行政監視機能が見られた一例であったかと思えます。学校の体制を整え、研修生の皆さんが一日も早く農家として生活できることを期待しています。

議会だよりで「市民に知ってもらいたいこと」と「市民が知りたいこと」のギャップを感じる場合があります。議会を知ってもらいたい、分かりやすい議会だよりにしたい。それが「開かれた議会づくり」に近づく方法だと思いますので、少しずつ工夫を重ねながら、分かりやすい議会だよりを目指し努力していきます。

広報広聴委員会委員

本間 正芳

発行／鶴岡市議会 編集／広報広聴委員会

〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町9-25  
 電話 0235-25-2111 FAX 0235-25-2123  
 メールアドレス gikai@city.tsuruoka.lg.jp

